

2月の星空、見どころ

2015-2-21

京都市 福原浩一

今日は森の宇宙船にての例会で、いつもその時の見どころを考えながら楽しんでいきます。あまり努力をせずに素晴らしい観望ができてしまうので、今回は事前に少し見どころをまとめてみました。

<2月の星空:見どころリスト>

対象	星座・場所	説明
かに星雲(M1)	かに座	惑星状星雲で、西暦1,054年に超新星爆発があり、それが空間に広がっているところ
オリオン大星雲(M42)	オリオン座	散光星雲で、オリオン三ツ星の下に肉眼でもわかる大星雲 中心にはトラペジウムと呼ばれる4つ星がある
オリオン馬頭星雲(IC434)	オリオン座	左端の三ツ星の下に位置する暗黒星雲、光を通さない星雲が馬の頭に見える
M41	おおいて座	シリウス付近の散開星団 星数は約100個
プレアデス星団(M45) カリフォルニア星雲	おうし座 ペルセウス座	有名な散開星団、日本名は“すばる” 青い星雲のなかに若く青い多くの星が見える 少し北側のペルセウス座付近に、赤く淡いカリフォルニア星雲がある
ヒアデス星団	おうし座	プレアデス星団のさらに左側にやや大きなV字型に並んだ星列がヒアデス星団
バラ星雲(NGC2237)	いっかく獣座	この付近にはいくつもの星雲・星団が散らばっている コーン星雲が代表例、周辺には大変に淡い星間ガスが広範囲に渡って広がっている
M36 M37 M38	ぎょしゃ座	3つの散開星団が横にならんでいる M38のすぐ南西には、IC405,IC410という赤い散光星雲があります。
M35 NGC2158	ふたご座	ふたご座の兄カストルの足もと付近に見られる すぐ南西(右下)にある、かなり小型の星団
NGC1300	エリダヌス座	棒うずまき銀河、大変きれいな棒渦巻き型をしていることで有名 中心核から東西方向にまっすぐな棒状の構造が伸び、そこから左右に渦が巻いている
M79	うさぎ座	球状星団 小型望遠鏡でもぼんやり丸みをおびた姿が見える
NGC1851	はと座	球状星団 南の空ひくくでも小型望遠鏡で見つけられる
M46 M47	とも座	シリウスから真東にある2つならんだ散開星団 左が M46(NGC2437), 右が M47(NGC2422) M46は微光星がぎゅぎゅ詰まった感じ、M47はまばらな星の集まり
土星		てんびん座にあり、夜半過ぎに東の空に昇ってきます
木星		夜8時ごろに東の空に見え、0時ごろに南の空の高いところに見えます。ほぼ一晩中見えるので観察の絶好機です。周りを回るガリレオ衛星(イオ、エウロパ、ガニメデ、カリスト)がわかります。天体望遠鏡を使うと衛星だけでなく、木星の表面にある縞模様や大赤斑という渦巻きも見えます。

以上